

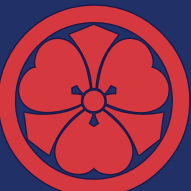
3人で醸す、
3000石足らずの小さな蔵

平成7年、四代目俊公が代表取締役に就任。
平成15年、商標登録の関係で、代表銘柄であった「さつま白雪」を
変更せざるを得なくなる。二代目利八が30代にして半身不随になっ
たにも関わらず、家業を死守し、後世に繋いでくれた不屈の精神に敬
意を表し、代表銘柄を「利八りはち」に改名。
平成21年、四代目俊公が大病を患った事を機に、大阪の某IT企業
に勤めていた嫡男の章一が入社し、自らの手でホームページを開設。
翌年11月、俊公は59歳の若さでこの世を去る。章一が26歳にし
て五代目・杜氏として事業を継承し、早10数年。先代に代わって、
精力的に、焼酎の無限の可能性を見出すべく、昔ながらの製法を基に
商品開発を行いながらも、SNS等で自ら情報発信して今日に至る。



たかが一本、
されど一本。
日々是感謝。
吉永酒造有限公司
五代目杜氏
吉永章一

薩摩特産
本格焼酎
利八
創業明治三十八年
吉永酒造有限公司
風味佳良



創業明治三十八年
吉永酒造有限公司
鹿児島県指宿市十二町 645 苗地
TEL0993(22)3015 / FAX0993(22)3029

創業は明治38年
温泉街。指宿の地にて

創業は明治38年。初代吉永亀次郎は、無類の焼酎好きが高じて、
自ら創業。薩摩の地にはめつたに降らない雪に掛け、希少なものを
味を目指して、銘柄を「さつま白雪」と名付けた。
二代目利八は戦前、事業拡大の為朝鮮半島に渡り、韓国大邱(てぐ)
でも製造を始める。しかし、脳梗塞で半身不随の身となり、兄弟に託
して、やむなく帰国。やがて開戦、昭和20年の大空襲により、残る
片腕も切断する事態となる。

三代目喜八郎が終戦により戦地から帰還し、家業を引き継ぐ。以降、
数年に渡り、工場設備など現在に至る基礎を構築し、昭和28年、
法人化して吉永酒造有限公司とする。

昭和57年、業界の乱立を契機に県内各地で協業化が進み、当蔵も参
画。しかし、独自の味作りへのこだわりから脱退。
2年のブランクを経て、すでに入社していた嫡男の俊公と共に製造を
再開する。

